

質問した事項

第4回定例会で行った9人の議員の一般質問を紹介... 掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。

深川市議会 YouTube チャンネル



一般質問通告表



- 有働 正夫 議員...06
・小学校への農業科の導入は
・農業での外国人材の働き方について
■大前 昭代 議員...07
・上下水道管の耐震化状況は
・ICT教育の情報セキュリティは
■村上 誠 議員...08
・増収増益技術の導入支援を
・国内外企業のさらなる誘致の促進を
■山本 時雄 議員...08
・ふるさと納税について
・財政運営の経過と今後の見通しは
■田畑 陽美 議員...09
・地域の支え合いについて
・こども食堂への支援と連携の考えは
■新田 旺 議員...10
・エキノコックス症の対策を
・習い事などに通う移動手段の確保を
■宮澤 孝司 議員...10
・部活動の地域移行について
・キャッシュレスによる消費喚起策は
■佐々木一夫 議員...11
・資格確認書の交付について
・マイナ保険証の解除方法と市民周知
■伊藤美恵子 議員...12
・子育て支援策の評価と今後
・乳幼児期における読書活動の推進を



うどうまさお 有働正夫 議員 「公政クラブ」

小学校への農業科の導入は 農業学習の内容充実を検討

農業分野における外国人材の受入れ：北海道HP



農業体験学習の様子

◎ 福島県喜多方市の小学校では、全国初となる農業科が導入され、農作物の栽培を通じて様々な学びが得られている。地域の農業を守る対策の一つとして、市内の小学校に農業科を導入する考えを伺う。
A 小学校の教育課程では、3年生から6年生の

間に設けられる総合的な学習の時間において、田植えや稲刈りなどの農業体験が行われており、年間の授業時間は、学校や学年によって異なりますが、多くの時間を農業学習に充てています。本市の基幹産業である農業を継続していくため、教育委員会としても、農業に

関する体験や学習の重要性を認識し、市民への周知方法や内容の充実を検討してまいります。
農業での外国人材の働き方について
◎ 農繁期の人手不足は深刻な状況にあり、外国人材の受入れが有効だと考えるが、北海道では通

年雇用が難しい。その対策として、産地間人材リレーの取組が注目されているが、深川市の考えを伺う。
A 本市は労働力不足対策として、農業団体と連携し雇用就業対策や1日農業アルバイトの取組に対する支援などを行っています。さらなる対策

として、外国人材の活用を含めた、労働力確保は非常に重要であると考えています。このため、外国人材の冬期雇用の課題などを解消できる産地間人材リレーは、非常に有効な取組だと考えますので、これらを参考にしながら、取組の可能性について研究してまいります。



おおまえあきよ 大前昭代 議員 「民主クラブ」

上下水道管の耐震化状況は 効率的に耐震管路を整備中

◎ 近年、自然災害が多発しており、上下水道管の老朽化と耐震性の低さが問題視されている。耐震性の高い上下水道管への更新や対策強化を推進する必要があると考えるが、現在の耐震化の状況を伺う。
A 上下水道施設の耐震化率は、送水管など基幹管

路で43・5%、管路全体に対して約6%が実施済みで、北空知広域水道企業団においても施設の耐震化が計画的に進められています。下水道施設は、耐震設計を必要とされなかった平成9年度以前に布設した管路が多く、耐震化は進んでいませんが、深川浄化センターの管理

棟は耐震化を行っており、近年は無電柱化事業などと連携し効率的かつ経済的に耐震管路の整備を進めています。
ICT教育の情報セキュリティは
◎ 全国でICT教育が推進される中、情報セキュリティ対策が十分に

はないとの指摘もある。児童生徒の個人情報を守るため、国の支援制度を活用し、情報セキュリティ対策を強化する考えを伺う。
A 本市では、市全体の情報セキュリティポリシーを策定していました。が、令和6年4月の改正により教育委員会が対象

ICTを活用した教育の推進：市HP



タブレット端末を活用した授業風景

から外れ、現在、教育委員会において教育情報セキュリティポリシーの策定作業を進めています。策定に当たっては、国の支援事業の活用も検討し、策定後は、本ポリシーに基づいた対策の実施や適宜見直しを行い、児童生徒や保護者が安心できる環境整備に努めます。



村上 誠 議員  
「公政クラブ」

## 増収増益技術の導入支援を 新技術導入支援を検討する

◎ 離農者数を抑え、新規就農者を増やすためには増収増益技術が必要である。新技術の導入にはリスクを伴うことから、試験的な導入に対して、市からの支援が重要と捉えているが、市の考えを伺う。

想定され、生産者にとつては非常にリスクがある取組と考えますが、生産者の所得増大による経営の安定などにつながるものであり、本市農業の持続的発展を図る上で、非常に重要な取組と考えています。このため、新技術の導入を市が後押しできるよう、生産者の希望

に依じて、試験事例等の調査、農業センター等における試験の実施について検討していきます。

◎ 若者の人口を増やすためには、就職先の確保が必須であり、本市では、企業誘致に力を入れてい

と認識している。今後は、外国企業の誘致も視野に入れた環境整備が必要と思うが、市の考えを伺う。

企業立地の御案内：市HP



市農業センターのスマート農業機械



山本時雄 議員  
「令和公明クラブ」

## ふるさと納税について 寄附金額は前年度の約2倍

◎ 市政運営の財源となる、ふるさと納税は、令和6年度には2回の補正予算が組まれ、寄附額が10億円を超えている。また、寄附件数も増加しているが、令和6年10月末現在の寄附状況と今後の見通しを伺う。

◎ 約2倍となる12億3000万円に達しており、返礼品の主力であるお米は、リピーターや新規寄附者の獲得が図られています。なお、お米が高値で推移している状況もあり、今後の寄附を見通すことは難しいですが、現在も順調に寄附申込みを受け付けており、12月は寄附の

ピークを迎えることから、道内外におけるPR活動に引き続き努めていきます。

◎ 田中市政1期目の前半2年が過ぎようとしているが、物価高騰による市民生活への影響が続く

中、市民からは財政運営に対する不安の声が聞かれる。これまでの財政運営の経過と今後の見通しを伺う。

ふるさと納税はこちら：市HP



ふるさと納税PRチラシ



田畑陽美 議員  
「民主クラブ」

## 地域の支え合いについて 研修会を通じニーズを把握

◎ 深川市生活支援協議会が主催する研修会に参加した際、地域の支え合い活動に効果的な様々な意見等が出されていた。研修会で市民から出された意見等を、市政にどのように反映していくのか伺う。

◎ 地域支え合い活動については、調査活動モデ

を通じて地域住民のニーズを把握し、地域に合った方法で支え合い活動が展開できるように取り組んでいきます。

◎ 本市は関係団体等と連携し、地域における食

深川子ども未来食堂：深川市社会福祉協議会HP



深川子ども未来食堂の様子

取組は、子供の居場所になり得る新たな試みであります。子供が生き生きと居場所があることは不可欠であるため、全ての子供が様々な学びや体験活動などに接することができるとして、市としても積極的に支援していきたいと考えています。



あきら 新田 議員  
「民主クラブ」

## エキノコックス症の対策を 感染状況を見極め対応検討

◎ エキノコックス症の感染を未然に防ぐには、小学生などに対する危険性の周知やキツネの検体調査が重要である。また、必要に応じて駆虫薬の散布を検討する必要があると思うが、市の考えを伺う。

学調査として観測定点を設定し、キツネの死体などを検査し調査しており、近年の道内における感染率は40%前後で推移している状況です。現状、市内では感染者が発生しておらず、早急に駆虫薬を散布する必要があると考えられています。後、感染者の状況やキツ

ネの出没頻度などの状況を見極め、対応を検討していきたいと考えます。

◎ 習い事などの多様な移動手段の確保を

とでも大切な事と捉えています。今後も交通事業者等とともに現状と課題の把握に努め、国の地域活性化起業人制度の活用なども視野に入れ、新たなデマンド交通を検討するなど、持続可能な公共交通サービスの確保維持に努めていきたいと思

エキノコックス症の感染を予防しましょう：市HP



みやざわたかし 宮澤孝司 議員  
「令和公明クラブ」

## 部活動の地域移行について 必要な調査研究に取り組む

◎ 北空知1市4町及び雨竜町が連携し、部活動の地域移行に向けた検討が行われている。指導者の確保や活動場所への移動手段、各種費用負担などの課題もあるが、現在の取組状況と課題について伺う。

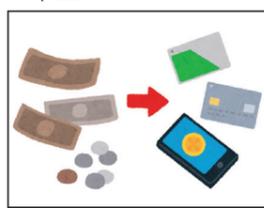
令和6年11月21日に開催し意見交換等を行ったところで、引き続き必要な調査研究に取り組むこととしました。また国は当初、休日の部活動の地域移行を令和7年度末までに達成する案を示していましたが、地域の実情に合わせて可能な限り早期実現を目指すことなどを

示したガイドラインを策定しており、このガイドラインを基本に様々な協議・研究を進めていく予定です。

◎ キャッシュレスによる消費喚起策は

これらの店舗と利用者のニーズが合致して初めて成功に結び付く事業であることから、関係団体における調整や合意形成が大変重要だと考えております。まずは関係団体でしっかりと情報共有を図り、検討を進める中で、機運を醸成していくことが大切であると考えています。

部活動の地域移行へ向けた取組：市HP



キャッシュレス決済のイメージ



ささきかずお 佐々木一夫 議員  
「れいわ新選組」

## 資格確認書の交付について 保険証未所有者へ毎年送付

◎ 資格確認書と健康保険証は実質的に同じものであり、マイナ保険証を持たない市民だけには、これからも毎年、少なくとも5年間は、資格確認書が郵送されてくることを確認したいが、いかがか。

マイナンバーカードを健康保険証として利用登録していない方に対しては、毎年送付することになります。

◎ マイナ保険証の解除方法と市民周知

マイナ保険証の解除方法に関する市民周知の考えを伺う。

紙の健康保険証の発行が終了：市HP

紙の健康保険証の発行が終了：市HP



資格確認書のイメージ

# 掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会  
YouTube  
チャンネル



一般質問  
通告表



## ■有働 正夫 議員

- ・交換留学について
- ・市職員の定着促進について

## ■大前 昭代 議員

- ・産前・産後のママさんサポートについて
- ・公共交通について

## ■村上 誠 議員

- ・地球温暖化対策について
- ・JR留萌本線跡地について

## ■山本 時雄 議員

- ・車両センターについて
- ・福祉除雪について

## ■田畑 陽美 議員

- ・消費生活の現状と取組状況について
- ・ファミリーシップ制度等について

## ■宮澤 孝司 議員

- ・地域の経済状況について
- ・年収の壁引上げについて

## ■佐々木一夫 議員

- ・道の駅テナントの応募書類について
- ・職員労働組合事務所の使用許可について
- ・複合施設設計のコスト意識について
- ・市内の解体工事業者の優先請負について
- ・空き家の解体とリノベーションについて
- ・市内小学校の統合の推進について

## ■伊藤美恵子 議員

- ・侵入強盗への防犯対策について
- ・会計年度任用職員の雇用待遇改善について



いとうみえこ 議員  
伊藤美恵子 議員  
「民主クラブ」

## 子育て支援策の評価と今後 認知度向上へ取組を継続

◎ 保育料の軽減や給食費の支援など、市が独自に取り組んでいる子育て支援策に対する自己評価と、今後優先的に進めていくべき少子化対策や子育て世帯に寄り添った支援策についての考えを伺う。

▲ 令和5年の合計特殊出生率が全国は1・20、

北海道は1・06と過去最低値を記録する中、深川市は1・28で一定の効果があったと考えますが、全国的に見てもトップレベルの本市の子育て支援策の効果が出し切れていないと感じています。今後は、住民認知度を上げていくための取組として子育ての社会化を推進

し、現在の子育て支援の取組を維持・継続しながら、より効果的な事業展開や拡充も検討していきます。

◎ **乳幼児期における読書活動の推進を**

乳幼児期から本に親しむことを目的としたブックスタート事業に加え、

絵本の読み聞かせを行う黄金期である3歳児に対して、絵本をプレゼントするブックセカンド事業に取り組み考えについて伺う。

▲ 本市ではブックスタート事業として、生後7か月の乳児に布絵本を贈呈しており、令和2年度から5年度までに294

冊の布絵本を贈呈し、一般的に高い評価をいただいています。ブックセカンド事業は全国の多くの自治体で取り組まれ、本市もブックセカンド事業の必要性を認識していることから、対象とする年齢や選書、経費等について検討し、早期に取り組みたいと考えます。

深川市子どもの読書活動推進計画：市HP



ブックスタート事業で贈呈される布絵本

# 複合施設整備特別委員会 深川駅周辺複合施設建設実施設計を了承

複合施設整備特別委員会では、令和6年第2回定例会において、基本設計についての調査結果の中間報告を行った以降、その基本設計を基とした複合施設の実実施設計の内容について2回の委員会を開催し調査を行いました。

委員会では、利用者に分かりやすい動線の整備や1階オープンスペースの活用、建設費や補助事業の内容、施設使用料の考え方など、様々な質疑や意見が交わされ、最終的な実施設計（案）を委員会として確認し了承しました。

また、令和6年第4回定例会では、これまでの調査経過について、宮澤委員長が中間報告を行いました。

今後は、複合施設の管理運営等に係る検討が進められていくことから、審議等を適切な時期に行うため、継続して調査を行っていきます。

これまでの主な調査・検討経過は以下のとおりです。

## ～委員会での主な調査経過（令和6年10月以降）～

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 第4回（令和6年10月28日） | 基本設計策定後の経過等及び実施設計について調査                   |
| 第5回（令和6年11月22日） | 公民館利用サークル説明会の結果、最終的な実施設計を確認し、中間報告を行うことを決定 |



宮澤複合施設整備特別委員長

### 3つの基本機能を備える複合施設

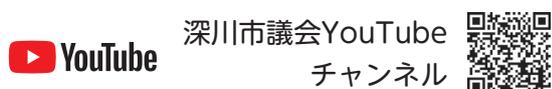
- ① 中央公民館の「生涯学習機能」
- ② バスターミナルの「交通機能」
- ③ まちなかのにぎわいを創出する「交流機能」



外観イメージ

問合せ先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号  
電話0164-26-2282（直通）



深川市議会YouTube  
チャンネル



深川市議会  
公式ホームページ

## 編集後記



令和6年第4回定例会では、教育や部活動、子育て支援など、子供に関する一般質問が多くあり、議員の関心の高さが表れていました。このような市議会を子供たちに少しでも知ってもらえるよう、本号では、こども向け「おしえてしぎかい」のページを設けました。深川の将来を担う子供たちに見ていただき、興味を持って欲しいと思います。市議会を間近で見ることできますので、傍聴にぜひお越しください。

広報編集委員 村上 誠